

台東区 及び台東区 の公金流用の可能性
について調査・指導を求めることについての陳情

過日、台東区の補助金交付団体である台東区 及び台東区

の組織運営について同会職員より内部告発がありました。その後、私をはじめ、会員有志が同会の運営状況について調査した結果、両会で前執行部時代より幾つかの公金流用の可能性を見出すに至りました。

しかしながら、私共の調査能力には限界もあり、また専門的な補助金交付団体の監査事務についても私共は未熟であります。つきましては、区民の税金(公金)である補助金が交付される団体としての両会の公共性に鑑み、このまま看過することは区民を裏切り、後に重大な事態に発展することが予想されるため、下記の通り、台東区ならびに台東区議会に真相究明のための御協力をお願いするものであります。公金を預かる皆様方の誠意ある御取り計らいの程、宜しくお願い申し上げます。

【趣旨】

両会の組織運営の透明性の確保を求め、台東区民及び両会会員が納得できるよう、補助金交付団体として適正か否か、公金流用の可能性について調査・検証をお願い致します。

また、調査の結果、公金流用があった場合には、両会が区民の大切な税金(公金)を頂く団体として、今後の対応や改革に向けた提言が必要です。両会への補助金交付の継続如何も含め、区民の公金(税金)を預かる皆様に対して、両会に対しての改善指導をお願い申し上げます。なお、内部告発後における私共の調査の結果、主に問題と考えるのは以下の8項目です。

- 1、国立西洋美術館世界遺産登録上野地区推進委員会に対する公金不正流用の可能性
- 2、設置されていないオートロック錠の工事費支出と執行部関連会社への公金不正流用の可能性
- 3、執行部役員の不明朗な新年会会費負担と公金不正流用の可能性
- 4、区補助金が交付された商品券事業における不明朗な会計処理と公金不正流用の可能性
- 5、「あしたのジョーの街」のフィギュア作成費用の不適正価格評価と公金流用の可能性
- 6、瑕疵ある総会決議に基づく借入限度額の変更・借入実行と公金不正流用の可能性
- 7、スカイツリー建設時における不透明な雑収入金の会計処理と公金不正流用の可能性
- 8、元職員に関わる裁判費用と解決金における公金不正流用の可能性

平成25年11月21日

台東区議会議長

和泉浩司 殿